

- ・新年のご挨拶
- ・安全な医療を提供するための取り組み
- ・年末年始の診療記録

- ・看護師の復職支援をしています
- ・フットケアチームの取り組み
- ・女性の尿失禁、性器脱に対する保存的治療
- ・個室利用のご案内
- ・緩和ケアチームからのお知らせ／ジブリ美術館で救命講習 ほか

## contents

### 新年のご挨拶



病院長 東原英二

新年明けましておめでとうございます。

本年は大きな診療報酬の減額もなく迎えられそうですが、後期高齢者医療制度の変化があると報道されており、地域病診連携がいっそう重要になる年だと考えています。杏林大学病院では、これまでも地域医療機関との連携を重視して参りましたが、一層連携推進に力を入れて、地域住民の皆様の医療に貢献して参りたいと考えています。

本年は院内に癌センターを開設し急性期総合病院としての機能を高める計画です。外来化学療法、がんチーム医療、緩和医療、がん情報の公開・提供の充実に加えて、地域医療連携の中でのがん治療推進がその柱になると考えています。

我々医療従事者にとって、地域医療連携の真価が問われる年であると思います。地域の全ての医療機関と共に努力をして参りたいと思いますので、よろしくお願いたします。

2008年1月

### さらなる地域医療連携を



副院長(地域医療連携担当)呉屋 朝幸

昨今医療の危機が叫ばれていますが、私たちは日本の医療を崩壊など絶対にさせません。

杏林大学病院は地域医師会の先生方および地域の基幹病院の先生方と連携しながら質の高いきめ細やかな医療を提供し、地域の人々の健康を守ります。

最近の数年は病棟設備の更新とともに医療連携を進めるための内部改革を実行してきました。本年も引き続きこのような内部改革を進め、地域の先生方や住民の皆様の要望に応える努力をして参ります。

医療環境がどのように変わっても、現場レベルで医療連携を進め、厚生労働省の唱える4疾病5事業の主要な部分を担う総合病院としての役割を果たして参ります。

様々なご要望を医療連携室までお寄せいただきますようお願い申し上げます。

2008年1月

### ■安全な医療を提供するために ～当院での取り組み～

#### 院内ライセンス制度の導入

・CVC 挿入医師  
CVC 挿入とその管理には少なからぬ確率で合併症が発生し、時に重篤化することがあります。他施設では死亡事例も報告されており、当院でもCVC 挿入を安全に実施することを目的に「杏林CVCプロジェクト」を立ち上げ昨年10月よりCVC 挿入医師には院内ライセンスの取得を義務付けました。同時に合併症の報告制度の制定や、エコー下での安全な穿刺手技の普及に努めています。

#### ・看護師が行う静脈注射の取り決め

昨年11月より当院の「看護師が行う静脈注射の取り決め」を改定し、静脈注射を行う看護師には院内ライセンスの取得を義務付けました。(教育担当部署・看護部/職員教育室)

#### e-ラーニングシステムの導入

昨年度よりe-ラーニングシステムを導入した全職員対象の医療安全基礎教育を実施・評価しています。

#### 患者様の確認

患者様の確認のために、ご自身に名前を名乗っていただいています。名乗れない場合は、ご家族に確認させていただきます。

#### 専任リスクマネージャー

ICCT 担当者が出張講義  
当院の専任リスクマネージャーやICCTの担当者が他院を訪問して医療安全管理・感染管理のお話をいたします。ご希望等は医療安全管理室(Tel 0422・47・5511 代表)まで。



### ■年末年始の診療記録

昨年12月28日午後4時30分から本年1月4日午前8時30分までの年末年始期間中に、けがや急病で来院された患者様は1,764人で前回同時期に比べて43人増となりました(表I)。診療科別患者数などは(表II)のとおりです。

(表I)

	19年度	18年度
患者数(人)	1,764	1,721
救急車台数	1・2次救急 111	157
	3次救急 27	29
3次救急患者数(人)	31	35

(表II)

診療科名	A T T		内科	外科	精神科	小児科	小児外科	脳神経外科	心臓血管外科
	内科	外科							
患者数	517	16	114	50	11	249	5	37	5
診療科名	整形外科	皮膚科	形成外科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	産婦人科	SCU	合計
患者数	109	179	57	59	220	93	31	12	1,764

平成19年12月28日-平成20年1月4日

平成20年1月7日庶務課調べ

【杏林大学医学部付属病院】  
〒181-8611 三鷹市新川6-20-2  
Tel 0422・47・5511(代表)  
ホームページ <http://www.kyorin-u.ac.jp>

## ■看護師の復職支援をしています

当院看護部では、東京都の委託（指定24病院の1つ）を受け「看護職員復職支援研修」を実施しており、潜在看護職者の地域医療機関への復職をサポートしています。

対象は再就業を考えている看護職者で、研修では最新の医療に関する講義、採血や輸液等の演習、病棟での看護実習などを行います。

研修の案内は当院ホームページやチラシでお知らせしています。これまでに開催した2回の研修にはあわせて17名が参加され（1回目9名、2回目8名）ました。そのうち4名の方が当院に就職されるなど（1/4現在）、研修の成果が少しずつ現れております。

今年度は、2月5日から始まる研修を残すのみとなりました（申込み締切りは1月29日【火】）。本研修に関心のある方のお申込みをお待ちしております。

## ■フットケアチームの取り組み

フットケアチームでは、重症下肢虚血（○□）診療の活性化を目的に「第1回多摩地区下肢救済・フットケアミーティング」を1月10日、院内で開催し（講師：座長／埼玉医科大学形成外科 市岡滋教授）、多くの方に参加していただきました。当院の6診療分野の講師による講演と活発な討論が行われました。

下肢の切断は、患者さまの予後を左右する重大な因子と言われています。少しでも長く下肢が残せるよう、退院後のQOL向上をめざし、熱意をもって取り組んでいます。

当院では、お一人お一人じっくりと診断治療、後療法、予防を行うために、**下肢救済・フットケア外来**（窓口は形成外科）にて、毎週木曜日の13～16時、完全予約制で行っています。

## 女性の尿失禁、性器脱に対する保存的治療・骨盤底筋訓練の勧め

女性場合、多くの尿失禁と性器脱は、これらを支持している骨盤底筋群や靱帯の緩みが原因です。

これらの支持を回復させるため、当院では、まず骨盤底筋訓練を行っています。この骨盤底筋訓練は、患者自身の意欲と方法がポイントで、訓練方法はパンフレットを読んだだけではなかなか体得しづらいという問題があります。



## ■個室利用のご案内

患者様のニーズに合わせて様々なタイプの個室をご用意



- \* 症状が不安定で、静かに睡眠をとりたい
- \* 多くの家族のお見舞いに便利な部屋がいい
- \* 部屋で電話をかけたい
- \* なによりプライバシーを重視したい



などのご希望には、アメニティーを重視した個室や少人数の部屋をご用意しています。最近では、「病気の時くらいホテル並の部屋で」というご希望も増えています。お部屋のご希望は、入院予約時にお伝えください。

## ■緩和ケアチームからのお知らせ

一昨年10月にスタートした緩和ケアチームでは、これまでに講演会を2回行い、あわせて246人の方に参加していただきました。第3回の講演会は、放射線療法などを中心に、緩和ケアに関する話題を取り上げて、2月28日（木）18時から大学院講堂で行います。院内外の医療関係者の皆さまの参加をお待ちしております。

## ■三鷹の森ジブリ美術館で救命講習

昨年12月27日三鷹の森ジブリ美術館で、本院救命救急スタッフ救命講習会を行いました。この講習会は三鷹市と同美術館からの依頼を受けて、毎年行っているものです。

美術館には年間約65万人の方が来館することので、講習に参加したスタッフは緊急時に備え、適切な処置ができるよう熱心に受講していました。



## ■そこで当院泌尿器科では排泄ケア専門の看護師による骨盤底筋体操の個別指導を行っています。

この訓練指導で、多くの尿失禁と軽度な性器脱の症状は改善し、多くの患者様から喜んでいただいています。不必要な手術を回避でき、手術が不可能または希望しない患者さんでも治療の恩恵があります。もちろん、訓練によっても症状が改善しない場合には、手術治療も行っていきます。（女性泌尿器科外来・金城真実）

診療日 毎週金曜日

（受付は初診・午前10時～11時30分、再診以降は完全予約制）

## 【講演会のご案内】

三鷹ネットワーク大学・杏林大学

### 「中高年の罹りやすい病氣」を3回シリーズで

1/25	増えてきた前立腺がん	泌尿器科 桶川隆嗣
2/1	知っておきたい脳卒中の話	脳卒中センター 栗田浩樹 他
2/8	変形性膝関節症の疑問にお答えします	整形外科 小谷明弘

問合せは三鷹ネットワーク大学(0422-40-0313)まで

杏林医学会主催

大瀧純一教授の

### 毎月第4土曜日に「ストレスに関するミニ講演」

日時：1/26(土) 午後1:30～午後3:00 次回は2/23です。  
場所：杏林大学病院外来棟6階 レストラン・ガーデン  
申込み先：杏林医学会 (medsoc@lib.kyorin-u.ac.jp) または \*お食事代は各自ご負担ください。  
TEL0422-47-5511(内線3314)担当：栗山)まで。

看護部主催

### 講演会「イキイキ楽しく働ける職場作り」

日時：2/15(金) 午後6:00～午後7:45  
場所：杏林大学 大学院講堂(付属病院第2病棟4階)  
講師：松村啓史先生(テルモ(株)取締役 常務執行役員 経営企画室長)  
参加費：無料 ※申込み不要、直接会場へ

総合周産期母子医療センター・親子のケアをもっとよくなる会

### 「こうのとりのゆりかご(赤ちゃんポスト)」から学ぶ、親子のケア

日時：4/12(土) 午後2:00～午後4:00  
場所：杏林大学 大学院講堂(付属病院第2病棟4階)  
講師：田尻 由貴子先生(医療法人 聖粒会 慈恵病院 看護部長)  
参加費：1,000円 当日ご持参ください。  
申込み等は総合周産期母子医療センター(0422-47-5511・内線2621)まで